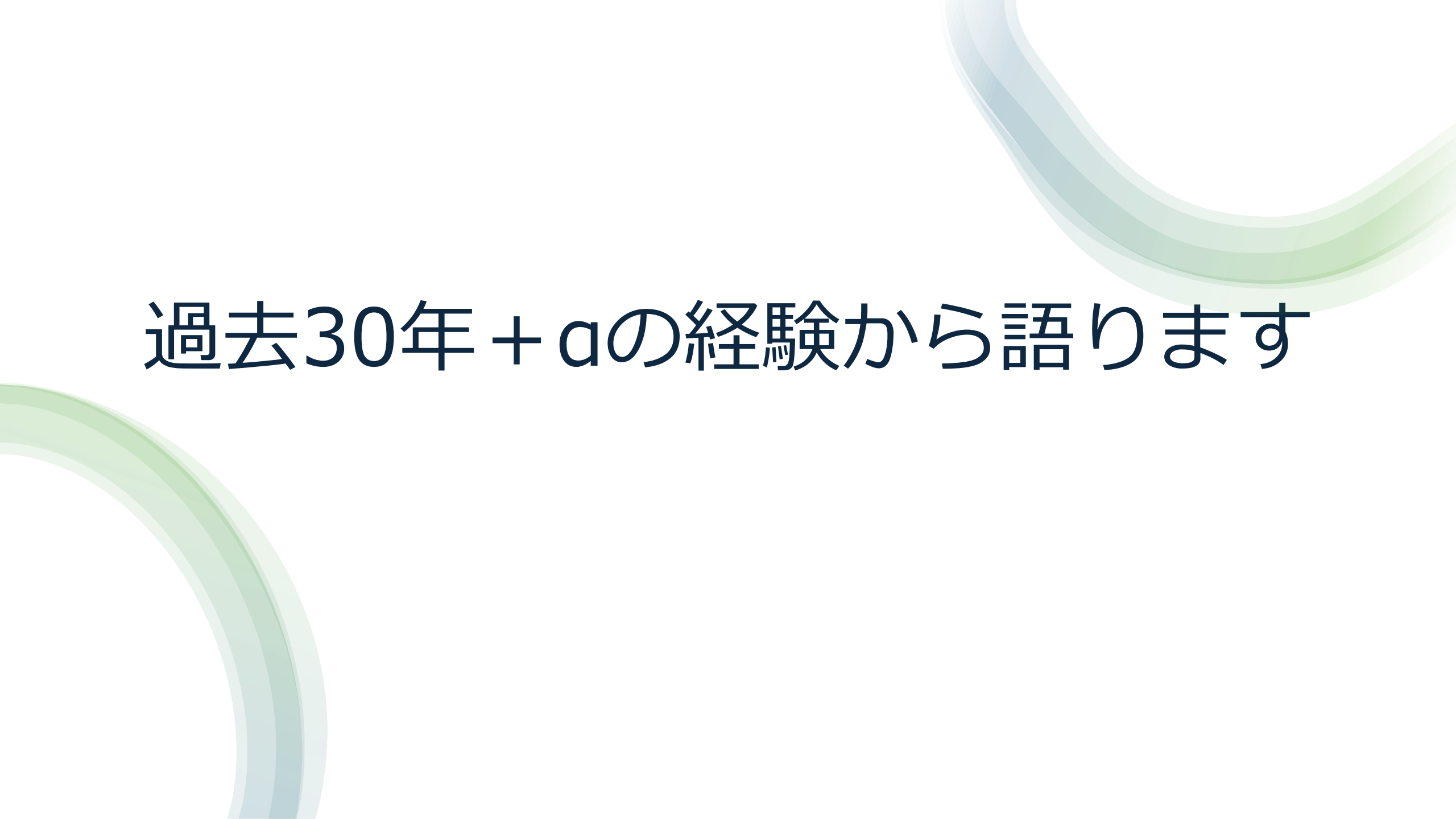


DX、ITのトレンドはこうつかむ、
こう伝える
必見の情報源はどれ、収集・分析の
コツとは

株式会社KMC 代表
中村 建助

本日の内容

- 自己紹介
- トレンドのつかみ方
- 差が付く伝え方
- DX、ITの情報源
- 本日のまとめ

The image features decorative curved lines in the corners. In the top right, a thick, multi-layered arc curves from the top edge towards the right, transitioning from a light blue-grey to a pale green. In the bottom left, a similar multi-layered arc curves from the bottom edge towards the left, transitioning from a pale green to a light blue-grey. The text is centered between these decorative elements.

過去30年 + aの経験から語ります

個人の経験に基づく内容です。漏れ・記憶間違いなどあると思います。ご容赦ください

自己紹介

KMC の目的

KMCは、メディア、
コンテンツ、イベン
トなどに関するみな
さまのお悩みにお応
えするための存在で
す

+

•

○

株式会社 KMC 企業概要

- 業務内容：メディア、コンテンツ、イベントに関する企画・作成・運営・コンサルティング
- 所在地：東京都渋谷区恵比寿西2-4-8
ウインド恵比寿ビル8F
- 資本金：100万円
- 代表：中村 建助
- 設立：2024年10月



KMC 業務内容 詳細



1. メディア及びコンテンツの企画・作成・運営・販売
2. 書籍及びレポートの企画・作成・編集・販売
3. オンラインを含む講演及びイベントの企画・実施・運営・販売
4. 広報、宣伝に関わる業務
5. マーケティング、各種調査に関わる業務
6. 企業戦略全般に関わる業務
7. 商品・サービスの企画・開発に関わる業務
8. 教育、研修、能力向上に関わる業務
9. 講師、専門家、著名人などの人材派遣、紹介に関わる業務
10. 前各号に関するコンサルティング及び一切の附帯事業

A background image showing a close-up portrait of a man, Kenji Nakamura, with a slight smile. The image is overlaid with a semi-transparent orange and blue gradient. In the upper center, there are three small white symbols: a plus sign (+), a solid dot (•), and an open circle (○) arranged vertically.

代表 中村建助 経歴

- なかむら・けんすけ
- 2024年10月、株式会社KMC設立、代表就任
- 1990年4月～2024年9月：株式会社日経BP在籍
- 雑誌、オンラインメディア、書籍の執筆、取材、編集を25年以上経験。専門はDX、IT
- 5媒体の編集長を含め、幅広い編集関連業務を経験
- 講演、モデレーション、書籍執筆、書籍編集を多数経験

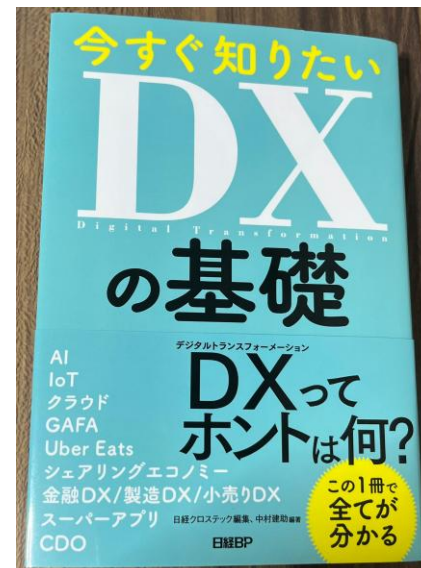
+

中村建助 日経BP 時代の 主な経歴 1

- 編集長経験
- 2017年4月～2017年6月：「経営革新にITを活かす」月刊誌『日経情報ストラテジー』編集長
- 2015年4月～2017年3月：ビジネスを推進するITの総合情報誌『日経コンピュータ』編集長
- 2013年1月～2016年9月：企業向けIT情報に関するオンライン総合メディア『ITpro』編集長
- 2012年1月～2012年12月：国内最大の経営誌『日経ビジネス』副編集長
- 2010年4月～2011年12月：環境・CSRの専門誌2008年1月～2009年12月編集長
- 2008年1月～2009年12月：ITベンダー向け専門誌『日経ソリューションビジネス』編集長

+

中村建助 日経BP 時代の 主な経歴 2



・ 著作

『今すぐ知りたいDXの基礎』（2021、日経BP）

『ソフトバンクもう一つの顔』（2024、日経BP）

+

中村建助 日経BP 時代の 主な経歴 3

- 書籍編集（ほか多数）

『マルウェアの教科書増補改訂版』（吉川 孝志、2023、日経BP）

『IT職場のトラブル対処、決定版』（杉本一裕、2023、日経BP）

『システム開発成功のカギは「オーナーシップ」にあり』（澁谷 裕以 |、2022、日経BP）

『Web3時代のAI戦略』（大植拓真ほか、2022、日経BP）

『Web世代が知らないエンタープライズシステム設計』（IT勉強宴会、2202、日経BP）

『スタートアップス 日本を再生させる答えがここにある』（KDDI ∞ Labo、2022、日経BP）

『次世代AI戦略2025』（大植拓真、2021、日経BP）

+

中村建助 日経BP 時代の 主な経歴 4

- 講演・モデレーション
- ビズスタ 中村建助 氏の最新の講演内容
- <https://biz-study.com/speakers/%E4%B8%AD%E6%9D%91%E5%BB%BA%E5%8A%A9/>
- 日経クロステックNEXT関西2024 「30分でつかむDX最新動向～できる企業になる情報収集のコツ～」
- 日経BP イベント&セミナー 「テクノロジー／AIを駆使する企業価値経営の未来像」
- 日経クロステックActive主催セミナー 「2022年のDXと情シスを占う」

上記はごく一部です。より詳しくは「**中村建助講演**」で検索を

トレンドのつかみ方

トレンドのつかみ方で生み出し方
ではありません。ご了承ください

トレンドのつかみ方

普段から情報にアクセスする

複数人の言葉を聞く・知る

バズワードをバカにしない

トレンドに関して

日本であれば少子高齢化、人口減少など確定した動向が存在する

言葉は変わっても大きな流れは継続しがち

電算化→情報化→IT化→DX

あがらえない、突然の変化を拒否しない

トレンドを示すときに意識すること

トレンドには寿命がある

トレンドにはTPOがある

トレンドは100%の正解ではない

差が付く伝え方

差が付く説明のコツ

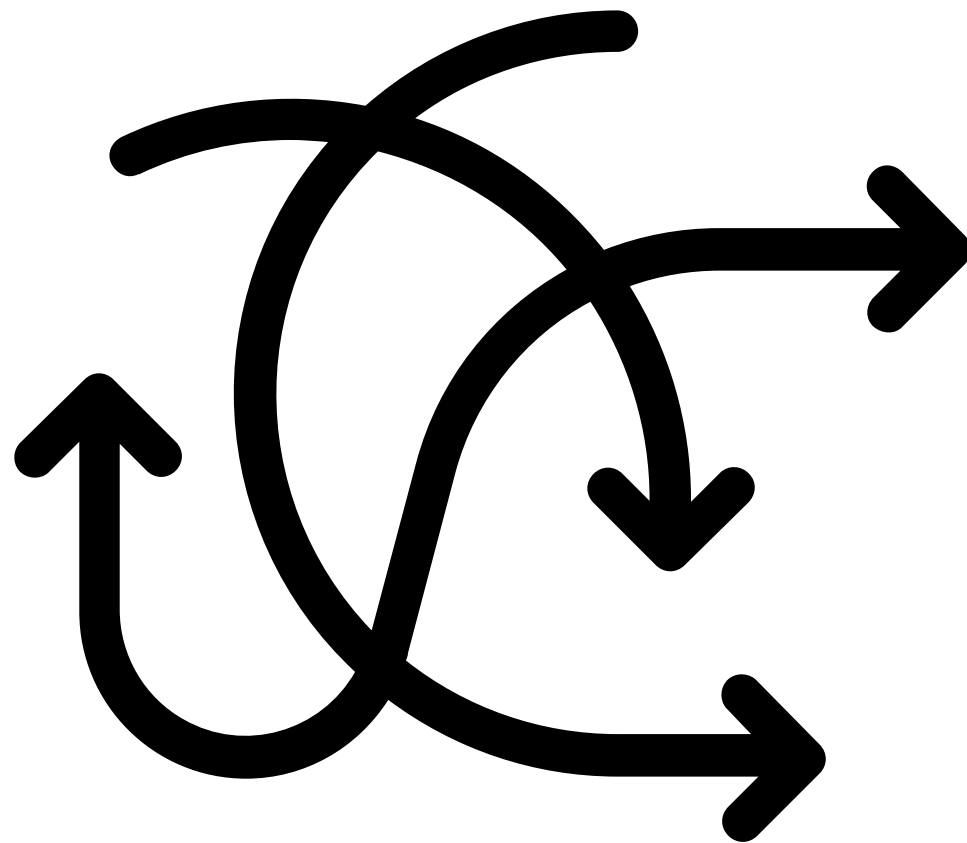
明確な結論を示す（決めておく）

ポイントの数は絞る

事例とデータを組み合わせる

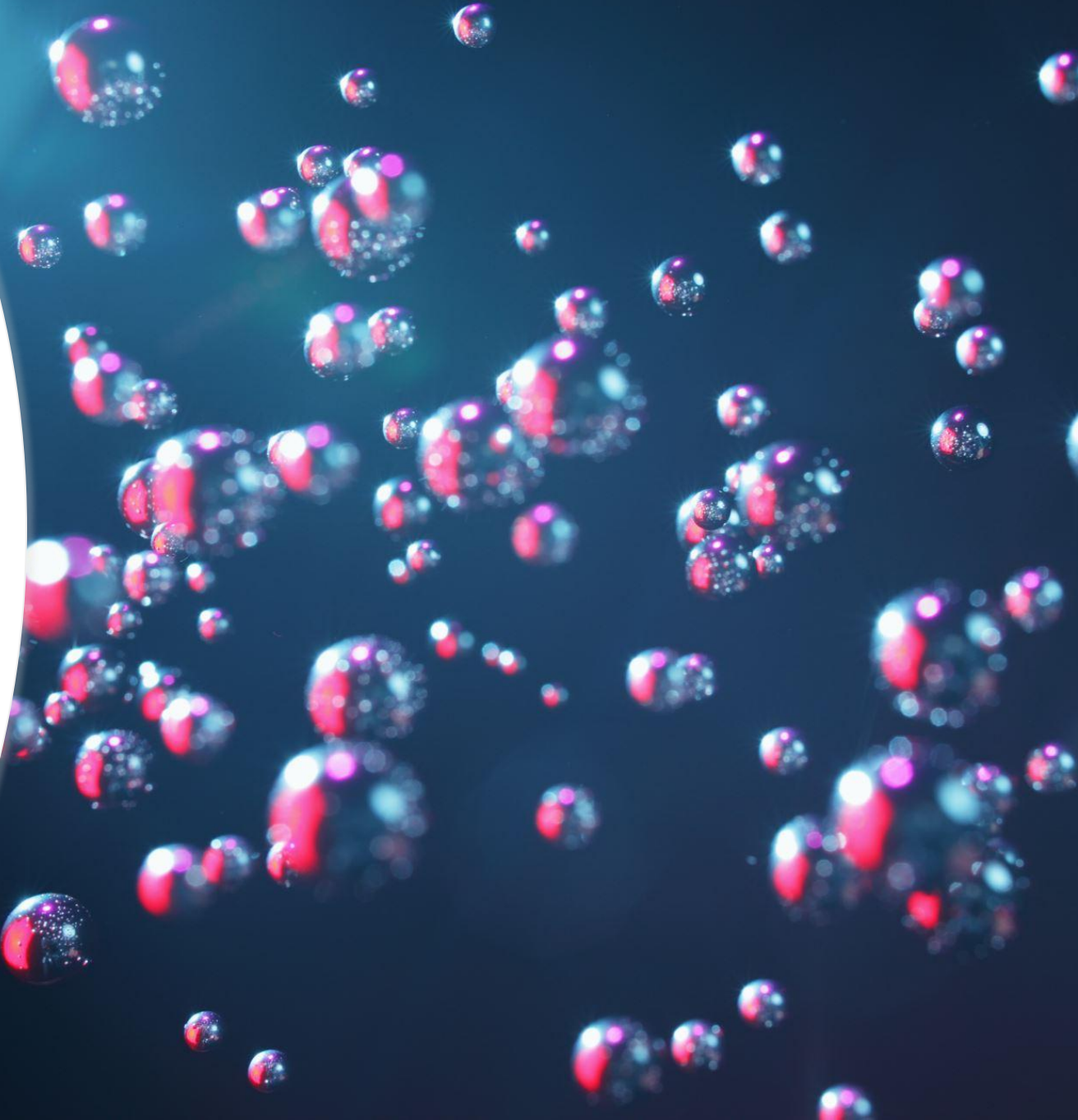
明確な結論を示す

- トレンドであればなおさら、方向を明示する



ポイントの数は絞る

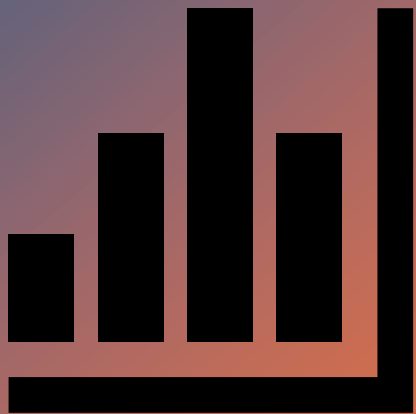
- 数で勝負もありますが、記憶に残りません
- ベストは1つ





事例とデータを 組み合わせる

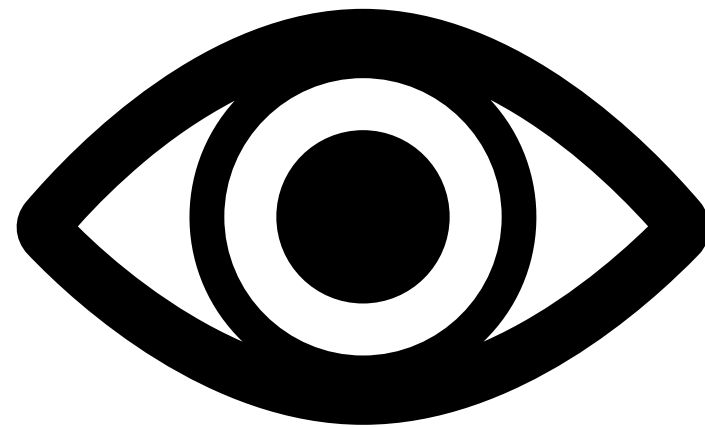
- データはマクロ
- 事例はミクロ



プレゼンする場合 には



- フォントは大きく
- 1枚の構成はシンプルに
- ビジュアルを使う
- AIも生かす



DX、ITの情報源

DX、ITの情報源

市場予測

白書・レポート

企業業績

メディア/SNS

大型イベント

市場予測

ガートナー・ジャパン

ガートナー・ジャパン
のハイプサイクル

IDC Japan

JUAS

ITR

矢野経済研究所

JISA

JEITA

白書・レポート

経済産業省発

総務省発

デジタル庁発

IPA発

IPAのDX推進ポータル

デジタルトランス
フォーメーション銘
柄

DX銘柄

DX認定事業者一覧

企業業績

GAFAMの四半
期決算報告書

日本の大手IT企
業の決算報告書

DX、ITに強いメディア

日経クロステック

日経ビジネス電子版

日経クロストrend

日経電子版

ダイヤモンド・オンライン

東洋経済オンライン

NewsPicks

ITmedia

インプレスの各メディア

ZDnet Japan
/Cnet Japan

メディアからの情報収集

重要なものをどう見つけるか、重なりに注目

有料のコンテンツは質が高い

メルマガ、SNS、検索で発見

動画は注目の領域

当然ですが、生の声を聞きましょう

DX、IT関連の大型イベント

CES

MWC
Barcelona

WWDC

Google I/O

AWS
re:Invent

Microsoft
Ignite

イベント

イベントに合わせて重大発表があるので時期を意識する

直後のニュースへの感度を高める

強く関心があるが行けない場合、興味があるコンテンツの動画視聴（メディア含む）が可能かどうか調べる

A large orange circle is positioned on the left side of the slide, partially cut off by the edge.

キーワー
ド検索

Google

Perplexity

X

キーワード検索

「OSINT」という言葉がありますが、使い方で差が付きます

あくまで検索だということのを忘れずに

本日のまとめ

適切な情報に接し、さらに人の声を聞く・知る。独りだとすぐにさびつきます

トレンドにも種類がある

一番えらいのはトレンドを生み出す人だが知ることにも意味がある

つかみ方、伝え方にもコツがある

KMC の目的

KMCは、メディア、
コンテンツ、イベン
トなどに関するみな
さまのお悩みにお応
えするための存在で
す

講演のお声がけもお待ちしております

ご清聴、ありがとうございました。